

早稲田大学エクステンション講演会  
&  
校友会支部総会

# 両会場とも盛り上がる

## 講演には在校生の父母も



発行  
早稲田大学校友会  
鹿児島支部  
住所  
鹿児島市金生町3-1  
山形屋本部秘書室  
☎0992-27-6310(代)

早稲田大学エクステンション講演会と校友会支部総会が、去る八月三日(土)、城山観光ホテルで開催された。

エクステンション講演会では、映画「早稲田第二世紀の幕開け」の上映に続いて、小山宙丸早稲田大学総長があいさつの中で「早稲田大学のこれから」について抱負を述べた。引き続きテレビ等でおなじみの早稲田大学助教授・吉村作治氏が、「古代エジプトのミステリーを探る」と題して、約一時間、エジプト探険のようについて講演した。会場の「錦江の間」では在校生の父母を含む校友ら約二百人が、吉村氏のスライドを交えたユーモアあふれる話に、熱心に聴き入っていた。



ていた。

支部総会は「コリドールの間」に会場を移し、小山総長をはじめ石黒校友会代表幹事、吉村氏など大学関係者も交え、夕方五時半から盛大に行われた。懇談会では、校友の田原実さん(S23年商学部卒)率いるハワイアンバンド「ココパームズ」の演奏や、抽選会などで大いに盛り上がり、早稲田大学校歌「都の西北」で幕を閉じた。

報告・事務局長  
川畑 孝則  
(S46年商学部卒)  
南生建設(株)  
専務取締役



# とりとめも ない想い出



鹿兒島市教育委員会  
社会教育課長

徳永健生

(S40年教育学部卒)

いつの間にかもう三十年。世田谷の岩崎学生寮から高田馬場に通っていたころを、随分昔のように懐しむほどの年齢になったかと思

うと、複雑な思いである。

ときどきは上京するのだが、数年前、通りすがりにタクシーを止めて正門のあたりを眺めて以来、御無沙汰だからきつと愛校心は薄いのだろうと思う。むしろ入学したときも、どこかへ潜りこみさえすれば、下手な文芸や歴史のつまみ食いができる—そのくらいの気持ちしかなかったから、大学のことよりも、あちこちの史料館や神

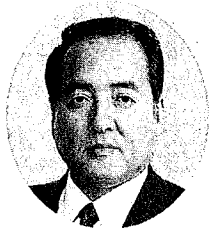
田・高田馬場の古書街をうろうろすることの方が楽しかった。

だから、格別、大学の思い出を語ることもない。部活動に青春を燃やしたわけでもなく、学徒らしい勉強に励んだわけでもないから結局は薄っぺらな生活をして帰ってきただけのことだった。単位がとれなくて、卒業できなかった夢を見ることがある。勉強しなかった因業のようなものかもしれない。それでも、いくつかの想い出がないわけではない。陶淵明研究の大矢根文次郎先生が部屋に呼んでことばをかけてくださった。「鹿兒島は遠いね。とっておいたんだよ」

そう言うって、目を細めて机の引出しから菓子を取り出してくれた。弟さんが鹿兒島の裁判所に勤めておられて、鹿兒島はいいところだと聞いていると言っておられた。

わが鹿兒島の暉峻康隆先生のすばらしい講義を聞いたのも幸福だった。そういえば多くの先生に巡り会えたのも有り難いことだった。卒論は、近代文字の紅野敏郎先生に指導をいただいた。ご自宅に学生を大勢呼んでくださったのも、先生のお人柄である。今も毎年十一月、純心短大に集中講義でおいでになる。早慶戦は、ときどき見にいった。

## シリーズ 集まり散じて (6)



甲突川  
雑感

鹿兒島ゼロックス(株)  
代表取締役社長  
杉本 梓(S41年商学部卒)

鹿兒島で仕事をさせていたは二度目です。最初は富士ゼロックス(株)で営業所長を務めていました。それも十年程前の事でした。鹿兒島ゼロックス(株)は四年前に鹿銀リース(株)と富士ゼロックス(株)の出資で設立された会社ですが、私は去年十二月に来鹿して、早一年になるうとしています。現在の職場は、五橋の一つ武之橋の前にあります。ここ風景は誠に素晴らしいものがあります。桜島、錦江湾、霧島連峰、城山、甲突川等、

観光の名所と言われる所が一望に見渡せます。

多くの歴史を作ってきたと思われる武之橋を渡るのが楽しみの一つです。橋の上から見ると、大きな鯉やボラなど沢山の魚が泳いでいるのが見えるからです。

時折、社員と昼食をしながら「甲突川の話」になると必ず、「あのころはよく川で泳いだ」という話を

は人間的素地の問題であると思えます。

私は休日には、一人だったり、子供連れだったり市内を散策をしますが、鹿兒島ならではの光景を目にします。それはお墓の有様です。常に生花があり、きれいに掃き清められている状態を見て感じ入るのは、いかに鹿兒島の人々が人を愛し、祖先を大切に、敬う気持が大きいかを知らされる思いでいっぱいになります。このように素晴らしい素地を持った人々の集まりである鹿兒島県人が、甲突川を泳げるようになる事は出来る

と確信するものです。都市の命は河川であると信じている私としては、河川の命は流れの量であり、水質の状態であると思えます。美しい河川は、そこに住んでいる人々の生活を豊かにし、心に余裕をもたらすものだと思います。

鹿兒島にも十年後には念願の新幹線が来ると決まったようです。恐らく今にも増して多くの人々が、この鹿兒島を訪れる事でしょう。人々の交流が文化を高め、さらなる歴史が鹿兒島に蘇ることでしょう。

# カンボジア旅行記

公認会計士 宮川 秀 樹

(S48年政経学部卒)



▲アンコールワットにて筆者

反対する家族を何とか説得し、期待を抱いて旅立ったものの、カンボジアに近づくにつれ不安な気が募ってきました。停戦が成立したとはいえ、タイ国境では未だに銃撃戦が絶えず、ジャングルの中では地雷、サソリ、毒ヘビの危険があることを聞かされ、自らの軽率さを後悔しました。地雷で片脚や片腕を失った人が物乞いをしている光景やポルポト派が虐殺した人間の頭蓋骨で作ったカンボジアの地図を見たときに、同じ失敗を何度も繰り返している人間の愚かさを改めて感じました。この様な私の気持ちを救ってくれたのは人々の明るい笑顔と純朴さでした。カメラを向けると、どこでも

笑顔で応えてくれます。それは、巨大で緻密なメカニズムの一部となってしまった今日の日本人が忘れてしまったものを思い出させるものでした。良識とか愛とかいうものは、人間すべてに平等に与えられているということ、又、人間の幸福の本質的な条件が、旅することに甦ってきます。

アンコール遺跡群は、首都プノンペンから空路約一時間半程飛んだタイ国境近くのシユムリアップにありました。アンコールワットは、十二世紀前半に建立されたヒンズー教の寺院で、単一遺跡としては世界屈指といわれております。確かにジャングルの中を抜けて突然出現するその迫力は、十九世紀

にこの遺跡を発見したフランス人探検家の驚きを想像するに難くありません。寺院の壁面を装飾しているユーモラスなデバター(女神)やアプサラ(天女)の彫刻は、アンコール王朝の栄華を偲ばせてくれます。しかし、素材が砂岩であるため、浸食が著しく、崩落するのは時間の問題といわれております。

頭に建立された仏教寺院を中央に配した城壁に囲まれた方形都市です。アンコールワットが女性的な優雅さを秘めているのに対し、アンコールトムの中心寺院にあるバイオンは、男性的な印象を受けます。バイオンに刻まれた巨大な観世音菩薩は、度重なる人間の争いを悲しんでいる様に思われます。遺跡というものがそれを見る人に感動を与えるのは、建立した者

## 宮沢りえの経済学

春苑堂ブックプラザ店長 並松 清 (S51年第一文学部卒)



今年の出版界の最大の話題は、何といっても宮沢りえの写真集である。読売、朝日両全国紙が前代未聞のヌード全面広告を掲載し、物議をかましてから発売までの一カ月間、マスコミのフィーバーも手伝って、家庭で、学校で、職場で、飲み屋で、同姓の首相そのものけとばかり話題をさらっていたようだ。

知名度・若さ・美貌・好感度を

兼ね備えるりえちゃんであればこそ、その騒ぎなのだが、見せられる側(大部分は見たがる側)の反応は様々だった。小学生の娘に頼まれて予約に来た父親、看護婦が見たと言うものだからと初老のお医者さんは照れ笑いしながら予約した。店頭予約受け付け中のポスターを眺めながら、「あんた予約しておきなさいよ」と親が子に勧めるほほえましい?家庭もあれば、電話で入荷連絡したら母親が出て、「うちの子は受験生です。そんな本いりません!」とガチャンと切られた対照的な家庭もあった。

四千五百円という高額な本にもかかわらず、女子高生からお年寄りまで予約を頂いたが、驚いたのは男性より女性の予約数の方が多い

の権力の偉大さではなく、人間の一途さや純粋さではないでしょうか。文明に進歩はあるのか、人類は進歩しているのか、このようなことを考えつつカンボジアを後にしました。

かつたことだ。話題性、幅広い年齢層、男女の区別なく売れるというベストセラーの必要条件を充分に満たしている。ミリオンセラーになるかどうか今の段階ではまだわからないが、りえちゃんの取り分は一〇%と言われている。仮に百万部売れたとして四十五億の売り上げとなり、十八歳の少女が四億五千万円を稼ぐことになる。

書店もひと稼ぎできたかというところ、実はたいしたことはない。むしろ全国に二万から三万の書店がある。店の規模その他で単純には言えないが、あえて四十五億を二万で割ると約二万二千の売り上げにしかならない。一九%の粗利で四万ちよつと潤うだけである。大騒ぎした割には、何だこんなものかと思ってしまう。こうなったら我が愛娘を第二の宮沢りえに育てるしかあるまい。父親似では無理か……。



# 話術に酔った

## 年配のファンもつめかける

### 暉峻康隆文化講演会



暉峻康隆文化講演会  
主催：早稲田大学校友会鹿児島支部、南日本新聞社、山形屋

暉峻康隆早稲田大学名誉教授の文化講演会（早稲田大学校友会鹿児島支部・山形屋・南日本新聞社主催）が十一月二十九日午後六時から山形屋文化ホールで開かれた。暉峻氏は「結婚の今昔」と題し、男性の結婚難といわれる現在、改めて結婚のルーツをさぐり、これからの結婚の在り方を考え直そうと訴えた。

最近までNHKの「お達者クラブ」などに出演し、ユーモア

たっぷり俳句を指導していた暉峻氏が講師だけに、校友の他、年配のファンも数多く詰めかけ、同氏の話術を楽しんだ。最後に主催者側を代表してあいさつに立った校友会の松元茂支部長が、推薦入学制度導入など大学の近況も紹介し、終始なごやかな雰囲気での会を終えた。

報告

幹事

辛島 史朗

(S55年法学部卒)

# 早稲田完敗

## 第十四回早慶対抗ゴルフ大会

今回で14回目を迎えた早慶戦は、新設の知覧カントリークラブで盛大に行われた。久しぶりに大武山キャプテンも御参加いただき、早稲田必勝体制で臨んだにもかかわらず、ポイントゲッターの吉田守先輩、浜田先輩などの不参加が響き、早稲田の完敗という結果になった。

この1年の出欠が非常に悪く、前回（春）も大幅に定員を下回り対抗戦が出来なくなり、親睦に変更せざるをえない状況であった。

この1、2年、10組の予約は容易ではなく、今回も慶応OBである山形屋秘書室の津曲氏が慶応OBでメンバーである諸先輩に頼みこんでいただいた結果の10組であっただけに（当日は4組）、おわびのしようがない。

個人戦の結果は、優勝が慶応、田貫先輩でアウト、イン共に42のグロス84（ベストグロスも受賞）ネット72のパープレーであった。以下は別表の通り。通算成績は早稲田大学の5勝9敗。

## 競技会成績

【競技会名】 早稲田VS慶応ゴルフコンペ 総合 参加人数：17人 天候：晴  
【競技方法】 Wペリア B・H・O：101101101 I：110101101

順位	氏名	O	I	グロス	ハンディ	ネット
優勝	田貫 敦也	42	42	84	12.0	72.0
2位	本坊 修	46	47	93	20.4	72.6
3位	大西 儀朋	44	49	93	20.4	72.6
4位	本坊 浩幸	45	46	91	18.0	73.0
5位	玉川 文生	45	51	96	21.6	74.4
6位	西岡 岩男	50	51	101	26.4	74.6
7位	大西 洋逸	56	49	105	30.0	75.0
8位	上原 昌徳	41	49	90	14.4	75.6
9位	秋葉 重貴	46	49	95	19.2	75.8
10位	岩元 正義	54	52	106	28.8	77.2
11位	大竹山 武吉	44	43	87	9.6	77.4
12位	中尾 成昭	55	50	105	27.6	77.4
13位	尾堂 友紀	52	51	103	25.2	77.8
14位	川畑 孝則	43	44	87	6.0	81.0
15位	内村 二郎	56	62	118	36.0	82.0
16位	石原 石孝	56	61	117	32.4	84.6
17位	岩元 正孝	61	65	126	36.0	90.0

なお、今回は15回記念大会となり、10回大会の様に盛大に行われる計画（来春、蒲生C・Cを予定）でありますので、多数の参加を強く希望致します。

幹事 大西儀朋

(S59年教育学部卒)

鹿児島海陸運送(株)取締役

### 編集後記

このところ我が校友会の存在が地元の経済誌に紹介されたり、また地元有力企業との共催で文化講演会を開くなどしたため、県民にもその活動が広く知れたるようになってきています。

本来「母校と郷土の発展のために」という目的で運営されている会だけに、これからも様々な機会をとらえて何かやっていければと幹事の一人として考える次第です。会員の皆様の会の活動に対するご意見やご要望も、どしどし事務局へお伝え願えればと思います。さて来年の総会は、7月18日(土)に決まりました。今のうちにスケジュールの中に加えておいてください。是非とも昨年以上の参加をよろしく願います。

会報委員

- 中村 眞・磯 大作
- 久保 英司・辛島 史朗
- 大西 儀朋

連絡先

☎〇九九二一七六一三〇(代) 事務局まで